学校番号	107

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	最新世界史図説 タペストリー（帝国書院） ウイニングコンパス（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界のさまざまな歴史的事象について、常になぜそのような事が起こったのか、なぜその政策の必要性があるのかなど、結果から考察して理解するようにしましょう。歴史的事象の意味・内容・起点・推移・背景などを総合的に考察する力を身に付けましょう。授業時には繋がりを意識しながらキーワードに対してメモを取るなど主体的にプリントをまとめましょう。また、資料集などを活用し、史資料を読み解く力を身に付けましょう。自身の知識を諸資料から活用できるように歴史的な見方、考え方を授業から身に付けましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・様々な地域・時代の史料から、様々な歴史的な情報を読み取ることができる技能を育成する。
【思考力、判断力、表現力等】
・様々な歴史的史料に触れ、思考力を培う。
・グラフや地図などを活用し、論理的な考察や議論ができる。
・歴史的事実を多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】
・世界の歴史や地理的条件と関連づけ、現代の諸課題に着目して考察し、国際社会に主体的に生きる力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・世界史の大きな枠組みと、歴史の流れに関する諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ・諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を調べまとめる技能を身につけている。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ・考察，構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学年末に５段階の評定にまとめます。その際、前期成績と後期成績の比率は３：２とします。　学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第一次世界大戦後の世界	・ヴェルサイユ体制下の欧米 ・アジア・アフリカの民族運動	a:第一次世界大戦前後の欧米の変化について理解できている。 b:当時の映像史料などを具体的に取り上げ、社会風潮との関連付けに着目して考察できている。 c: 第一次世界大戦前後の欧米について、自らの学習を振り返り、学びを深められている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント	・授業プリント ・振り返りシート
	第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	・世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊 ・第二次世界大戦	a:世界恐慌から第二次世界大戦へ続く歴史的な流れについて理解できている。 b:ナチスの台頭に対する各国の対応など、当時の史料などをもとに考察できている。 c:第二次世界大戦前後の世界について、自らの学習を振り返り、学びを深められている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント	・授業プリント ・振り返りシート
後期	冷戦と第三世界の台頭	・冷戦の展開 ・第三世界の台頭とキューバ危機	a:冷戦期の歴史的事象について、理解できている。 b:冷戦が長期間にわたって続いた原因について考察できている。 c:冷戦期の世界の歴史について、自らの学習を振り返り、学びを深められている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント	・授業プリント ・振り返りシート

	冷戦の終結と今日の世界	・冷戦の終結 ・今日の世界	a:冷戦の終結から 21 世紀の世界の歴史の流れについて理解できている。 b：冷戦後から今日の世界各国の情勢について、考察できている。 c:冷戦終結から 21 世紀の世界の歴史の行く末について、自らの学習を振り返り探究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント	・授業プリント ・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度